

楽劇

平和楽

平成の世に
生まれた
和楽の世界

作・プロデュース・演出 野村万之丞
平成15年11月16日(日)
15:30開場／16:00開演
京都芸術劇場「春秋座」

主催：ACT. JT(アクトジェイティ)
京都造形芸術大学



京都芸術劇場における、 野村万之丞の【楽劇三部作】上演、 第三弾。

5月の「大田楽」、9月の「真伎楽」に続いて、今回は「平和楽」を上演します。

「大田楽」は「躍り」、「真伎楽」は「仮面」をテーマにしているのに対し、「平和楽」は「言語」、しかも「言語破壊」というテーマで制作しています。でたらめ語をしゃべる中国人と、日本の相撲取りとがストーリーを展開させていくなかで、言語を破壊し、言葉に頼らず心を伝達する、というテーマを掘り下げています。「平和楽」の元は狂言の「唐人相撲」ですが、狂言はもとも「和み楽しむ」「和楽」の世界であると言われます。「和楽」とは、おおかたで豊かな狂言の魅力を表した言葉といえるでしょう。そんな魅力を持った狂言を、平成の世に【楽劇】という新しいフレームに蘇らせ、また万之丞が初めて市民参加型を導入してホールや屋外のページェントとして作り上げた作品が「平和楽」（平成の世に生まれた「和楽」の世界）なのです。

このタイトルには、国境や人種を越えて共にく和み楽しむ「平和」への思いも込められています。様々な国や文化のエッセンスを混ぜ合わせて、これまでに見たこともない新しい世界を創造していく【楽劇】の特徴を、余すところなく含んでいるのです。

今回は、万之丞が教授を務める京都造形芸術大学の学生を交え、京都ならではの「平和楽」をご覧に入れます。



野村 万之丞
(総合芸術家・狂言師)

古くて新しい東西文化の融合を提唱し、21世紀の文化産業を創造すべく様々な分野で活動を展開している。大学教授、プロデューサー、執筆家、演出家、NHK大河ドラマの芸能考証と多岐に渡り、また、狂言、野村万蔵家の八代目当主、「萬狂言」代表として活躍中。2005年に八世野村万蔵を襲名。重要無形文化財総合指定、(社)能楽協会理事。京都造形芸術大学教授。フランス芸術文化勲章シュバリエを受章。



楽劇 平和楽

平成15年11月16日(日) 開場 午後3時30分／開演 午後4時00分

会場 京都芸術劇場「春秋座」

主催：ACT.JT(アクトジェイティ)／京都造形芸術大学

1階席5,000円／2階席3,000円／学生席1,000円

◆チケット取り扱い

京都造形芸術大学

Tel.075-791-8240

チケットぴあ

Tel.0570-02-9999

e+(イープラス) eee.eplus.co.jp
パソコンもケータイも同じアドレス

ACT.JT

Tel.03-5766-6054

京都芸術劇場「春秋座」

交通案内

■JR・近鉄

京都駅・市バス5系統岩倉行き(京都造形芸大前)下車

■阪急

河原町駅・市バス5系統岩倉行き(京都造形芸大前)下車

市バス3系統百万遍上終町行き(京都造形芸大前)下車

■京阪

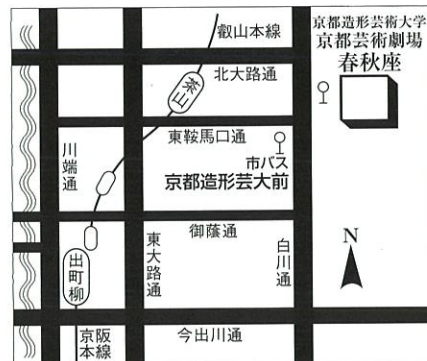
三条駅・市バス5系統岩倉行き(京都造形芸大前)下車

出町柳駅・叡山電車乗りかえ茶山駅下車徒歩8分

■地下鉄

北大路駅・市バス204系統循環(京都造形芸大前)下車

※劇場には駐車場がありません。車での来場は御遠慮下さい。



お問合せ

ACT.JT
(アクトジェイティ)

TEL.03-5766-6054 FAX.03-5766-6055

<http://www.tmdnet.tv>